

太宰府中学校2学年だより

No.18

R3.11.19

文責:2年部 主任

修学旅行に向けて

京都班別学習計画・係会・3日間の行程と持ち物の確認・・・着々と準備しています。



先日後期中間考査が行われました。ほとんど答案が返ってきましたが、手応えはどうでしたか。

毎回思うことですが、皆さんが、定期考査に向かって必死に頑張る姿には本当に感心します。

放課後の学習会にはたくさんの方が参加し、一生懸命課題と向き合っていました。

学習支援に来ていただいている福岡女子短期大学の教授先生が、皆さんの姿をご覧になり、「ここ数年間関わってきた生徒さんの中で最も素晴らしいですね。ノートにもびっしりと単語を書いていて、それぞれの人が自分の勉強スタイルを身につけていますね。本当にすごいです。」と感心していました。

試験の結果はどうであれ、このような「地道な努力」の積み重ねは、必ずよい成果につながります。あせらず、腐らず、自分を信じてコツコツと継続していきましょう。



さて、いよいよ修学旅行に向けて本格的に準備を進めていきます。11月12日に、修学旅行の実施が決定され、修学旅行まで、あと40日ほどとなりました。

「今から、ここから」が2年生の力の見せ所です。ひとつひとつの準備を計画的にすすめましょう。

先週から今週にかけて、たくさんの活動を行いました。それぞれ十分に準備できましたか。

①係会

修学旅行では、それぞれが決められた仕事をしないと、活動ができません。

係会では、係長から、修学旅行でどのような場面でどんな活動をするのか説明があり、皆で確認しました。今後、係ごとに取り組みを行い、自分の係の仕事に責任をもつ意識を高めていきます。



②行程・持ち物確認

学年集会を開いて、先生から3日間の行程と持ち物、健康面についての説明を聞きました。

修学旅行は、学ぶ場が中学校から京都や奈良になっただけで、学校生活と同じルールとマナーを守って過ごします。

決められた時間で全員が動くので、お家とは違う時間に風呂に入ったり、食事をします。

もちろん、ゲームも3日間我慢します。

不自由さを感じるでしょうが、それも皆さんにとって大切な学びです。思い通り行かないときに、自分に対して、仲間に対して、どうすればいいのかを考えて行動できる「社会性」を身につけることも修学旅行で学んでほしいと思います。

(行程表と持ち物は裏面に掲載しております。また、保健だよりも17日に配布しております)



③京都班別研修計画

京都研修は、皆さんが一番楽しみにしている活動です。ジャンボタクシーで5時間揺られながら「Door to Door」で皆さんの名所を見て回ります。

教科書に出ている建物を間近に見て回れる・・・何と素敵なことでしょう。

先週、タブレットを使って、どこを見に行くか計画をたてました。

グーグルアースやマップなども適宜に活用し、詳しく調べている皆さんを見て、時代は変わった・・・と感じたのは私だけでしょうか。

今後、しおり作成や隊形移動練習など、まだまだ皆さんの準備があります。

でも、最も大切な準備は「皆さんの心と体の健康維持」です。お互いに感染対策に気をつけあいながら、これからも健康な心身を継続して過ごしていきましょう。



デートDV・性暴力講演会が行われました。

11月10日(水)にデートDV講演会、17日(水)に性暴力講演会が行われました。

人権擁護委員の方から、様々なケースを提示していただきながら、男女の関係だけでなく、人と人の適切な関係について、お話がありました。

誰でも、一人だけでは生きていけません。学校でも、お家でも、それ以外でもたくさんの「他人」と関わって生活しています。そして、自分以外の人と「適度な距離」を保ちながら、相手の立場になって考えて行動することが大切です。

以前、熊丸みつこさんが講演会で皆さんに仰っていましたね。

みんな、自分を大切にね。そして、自分と同じように・・・相手も大切にね。

相手の都合を考えずに自分の思いだけを押しついたり、思い通りにならない相手に力で言うことを聞かせたり、相手からの嫌な要求に対して「NO」といえない関係は、決して「対等な関係」でも「安全・安心な関係」ではありません。

また、誰でもそれぞれの「プライベートゾーン」があり、それは親しい間柄でも勝手に触れてはいけない大切なものです。

事例で演じてくれた男の子と女の子のように、お互いが相手を気遣うことができる対等な関係を築けるといいですね。

11月9日のちょっと素敵な出来事

「先生、見てください!」たくさんの生徒に呼ばれて、何かと思って窓の外を覗いたら、理科室のあたりに大きな虹がかかっていました。

目の前に大きく迫っていたので、7つの色がくっきりと映えていました。その色の美しいこと! 雨上がりの夕方で、二重の虹がかかっていて、非常に珍しい光景でした。

すぐ消えてしまったので写真に残せなかったのがとても残念でしたが、それ以上に嬉しいことがありました。それは、皆さんと一緒に「美しいものを美しいと喜び合えた」ことです。ここ数年、コロナ禍でつらい思いを体験したり、悲しい出来事がニュースなどで流れる中、優しい心をもった人間が持っている「美しさに感動する心」を共有できたことに、心から嬉しさを感じました。早くコロナが収束して、人々の心に虹がかかることを願っています。

